

2020年4月17日の薬事委員会で以下の薬剤について決定いたしました。他の事柄についてもあわせてご報告いたします。

### ① 新規採用医薬品

#### イノラス配合経腸用液(外科センター)【院外限定】

薬効: たん白アミノ酸製剤

申請理由: イノラスは高カロリーを摂取する際、エンシュアやラコールと比較して 2/3 (62.5%)で済む。以前の経腸液より飲みやすいため服薬アドヒアランスの向上が期待でき、化学療法中の栄養剤としても有用であると考えられる。微量元素も含まれる。

採用中止薬剤: なし

#### アミティーザカプセル 12 $\mu$ g(外科センター)

薬効: クロライドチャンネルアクチベーター

申請理由: 慢性便秘症診療ガイドラインにて、エビデンスレベル A となっている。24 $\mu$ g → 12 $\mu$ g に変更することで高齢者対応用量調整が可能になる。

採用中止薬剤: アミティーザカプセル 24 $\mu$ g

#### ミヤBM錠(血液疾患センター)

薬効: 生菌製剤

申請理由: 血液内科では抗生剤による下痢をしばしば経験する。現在、使用可能であるビオスリーは抗生剤により効果が減弱されるため化学療法中の下痢の管理に難渋する。できれば抗生剤下でも有効である整腸剤が望まれる。

採用中止薬剤: メントレキセート錠 2.5mg

### ② 経過措置薬

・メチロン注25%2mL (代替薬:スルピリン注射液250mg「日医工」25%1mL )

#### <報告事項>

### ③ 抗菌薬等の供給状況

<供給停止>

PIPC/TAZ ピペラシリン/タゾバクタム注(タゾピペ)

<供給再開>

CFPM (セフェピム)

一部再開、ABPC アンピシリン注(ビクシリン)

PIPC ピペラシリン注(ピペラシリン)

CAZ セフトジジム注(セフトジジム)

MNZ フラジール注(アネメトロ)